



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月22日

上場会社名 キヤノン電子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7739 URL <https://www.canon-elec.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)酒巻 久
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)石塚 巧 (TEL)03(6910)4111
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	18,985	△12.1	1,613	△25.9	1,580	△27.4	1,230	△29.0
2019年12月期第1四半期	21,594	△1.0	2,176	△26.4	2,176	△18.3	1,732	△12.2

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 936百万円(△50.0%) 2019年12月期第1四半期 1,873百万円(7.0%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年12月期第1四半期	30	12	—	—
2019年12月期第1四半期	42	44	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2020年12月期第1四半期	115,557		96,076		81.0	
2019年12月期	115,237		95,348		81.7	

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 93,578百万円 2019年12月期 94,181百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2019年12月期	—	40.00	—	40.00	80.00	—
2020年12月期	—	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 なお、2020年12月期の1株当たり配当金については未定です。

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年12月期 1 Q	42,206,540株	2019年12月期	42,206,540株
2020年12月期 1 Q	1,372,418株	2019年12月期	1,372,440株
2020年12月期 1 Q	40,834,105株	2019年12月期 1 Q	40,815,128株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2020年12月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難なことから、現時点では未定としております。業績予想の公表が可能となった段階で速やかに公表いたします。

2020年12月期の1株当たり配当金につきましては、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き不透明であり、今後の市場動向を見据えたうえで公表する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 事業の種類別セグメントの状況	2
(3) 財政状態に関する分析	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2020年第1四半期の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、経済活動が抑制されており、急速に減速しています。日本経済も、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動の自粛が広く要請されており、厳しい状況となっています。当社グループにおきましても、部品納入に遅延が発生し、一部で生産が滞りました。

このような状況の中、当社グループは収益の拡大を目指し、全社を挙げた拡販活動や生産性向上活動を推し進め、業績の向上と収益性の改善を図ってまいりましたが、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は189億85百万円（前年同期比12.1%減）、連結経常利益は15億80百万円（前年同期比27.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億30百万円（前年同期比29.0%減）となりました。

なお、新規事業として取り組んでいる宇宙関連分野におきましては、当社製の超小型人工衛星「CE-SAT-I（シーイー・サット・ワン）」の実証実験を現在も順調に進めているほか、部品の内製化率を格段に高めた超小型人工衛星の2号機となる「CE-SAT-IB（シーイー・サット・ワンビー）」の打上げを5月中旬以降に行う予定となっており、現在その準備を進めております。

また、当社子会社のスペースワン株式会社では、和歌山県串本町で日本初の民間企業が所有するロケット打上げ射場の建設を進めており、2021年度中の小型ロケット打上げサービス開始を目指しております。

(2) 事業の種類別セグメントの状況

コンポーネントセグメントにおきましては、デジタルカメラ市場は、スマートフォンのカメラ機能の充実により厳しい状況が続いています。当期もシャッターユニット・絞りユニット等のカメラ部品について積極的に受注活動を展開しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大による部品納入の遅延や販売先の在庫調整により、売上は減少しました。レーザープリンター・複合機向けのレーザーสキャナーユニットは、米国・中国間の貿易摩擦を巡る緊張等の影響により全世界的に厳しい販売状況が続いたほか、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で販売先であるキヤノングループの海外子会社が一部操業停止となったことにより、売上は減少しました。なお、ベトナム子会社において生産を行っている複合機向けのリーダーユニット・キーユニットは引き続き受注が堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は100億37百万円（前年同期比17.8%減）、営業利益は14億54百万円（前年同期比26.7%減）となりました。

電子情報機器セグメントにおきましては、スキャナー製品関係では、欧州やアジアで販売が落ち込んだものの、米国ではEコマースチャネルでの販売、政府向けや選挙システム向けのビジネスが好調なことにより、売上は堅調に推移しました。ハンディターミナル関係では、キャッシュレス決済が可能なモバイル決済端末「CA-P1」やハンディターミナル本体の販売が前年を上回り、売上は増加しました。レーザープリンター関係では、他社製品の受託生産を新たに複数進めていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大による部品納入の遅延により一部機種で生産が滞り、売上は減少しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は64億31百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は7億57百万円（前年同期比14.2%増）となりました。

その他のセグメントにおきましては、情報関連事業は、情報セキュリティ対策ソフト「SML」、学校向け教務管理システム「SCHOOL AID(スクールエイド)」、顧客情報管理システム(CRM)等の受注活動を積極的に展開しましたが、売上は減少しました。環境機器事業は、「2019年度グッドデザイン賞」ならびに「グッドデザイン・ベスト100」を受賞した歯科用ミリングマシン「MD-500」を1月に発売し、販売は堅調に進んでおりますが、小型電動射出成形機・業務用生ごみ処理機の販売が昨年を下回り、売上は減少しました。精密機器事業で扱っている医療関連機器では、薬剤分包機の販売が昨年を下回り、売上は減少しました。なお、スペースワン株式会社では、世界的に高まりつつある小型人工衛星打上げの需要に応えるべく、2021年度中の小型ロケット打上げサービス開始を目指し、準備を進めております。

これらの結果、当セグメントの売上高は25億16百万円(前年同期比6.8%減)、1億17百万円の営業損失となりました。

(3) 財政状態に関する分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,155億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億19百万円増加しました。流動資産は759億6百万円となり、2億46百万円増加しました。固定資産は396億50百万円となり、72百万円増加しました。うち有形固定資産は336億9百万円となり、76百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は194億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億8百万円減少しました。流動負債は164億42百万円となり、2億65百万円減少しました。固定負債は30億38百万円となり、1億42百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は960億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億27百万円増加しました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の連結業績予想につきましては、2020年1月28日に公表いたしました連結業績予想から修正を行っております。詳細につきましては、2020年4月22日に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,282	25,448
受取手形及び売掛金	23,140	21,046
リース投資資産	654	637
商品及び製品	1,270	1,801
仕掛品	4,216	4,675
原材料及び貯蔵品	177	107
短期貸付金	23,000	20,000
その他	1,918	2,189
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	75,660	75,906
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,755	10,605
機械装置及び運搬具(純額)	3,003	3,080
工具、器具及び備品(純額)	3,001	3,199
土地	15,907	15,919
リース資産(純額)	15	14
建設仮勘定	1,003	790
有形固定資産合計	33,686	33,609
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,895	1,690
繰延税金資産	1,550	1,922
その他	748	748
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,194	4,361
固定資産合計	39,577	39,650
資産合計	115,237	115,557

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,637	10,431
電子記録債務	563	531
リース債務	212	223
未払費用	1,335	998
未払法人税等	1,081	842
賞与引当金	488	1,446
役員賞与引当金	26	3
受注損失引当金	23	19
その他	2,335	1,946
流動負債合計	16,707	16,442
固定負債		
役員退職慰労引当金	221	204
退職給付に係る負債	2,480	2,386
繰延税金負債	24	21
その他	455	425
固定負債合計	3,181	3,038
負債合計	19,889	19,481
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,969	4,969
資本剰余金	9,602	9,602
利益剰余金	83,185	82,782
自己株式	△2,547	△2,546
株主資本合計	95,210	94,807
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	352	89
為替換算調整勘定	337	294
退職給付に係る調整累計額	△1,718	△1,612
その他の包括利益累計額合計	△1,028	△1,229
非支配株主持分	1,166	2,497
純資産合計	95,348	96,076
負債純資産合計	115,237	115,557

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	21,594	18,985
売上原価	16,940	14,791
売上総利益	4,653	4,193
販売費及び一般管理費	2,476	2,580
営業利益	2,176	1,613
営業外収益		
受取利息及び配当金	13	13
助成金収入	13	0
その他	15	14
営業外収益合計	42	29
営業外費用		
為替差損	40	60
その他	1	1
営業外費用合計	42	61
経常利益	2,176	1,580
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	2,177	1,580
法人税、住民税及び事業税	856	753
法人税等調整額	△367	△309
法人税等合計	489	444
四半期純利益	1,688	1,136
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△43	△93
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,732	1,230

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
四半期純利益	1,688	1,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48	△263
為替換算調整勘定	0	△43
退職給付に係る調整額	136	106
その他の包括利益合計	185	△200
四半期包括利益	1,873	936
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,917	1,030
非支配株主に係る四半期包括利益	△43	△94

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	12,206	6,688	18,895	2,698	21,594	—	21,594
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	83	207	290	98	389	△389	—
計	12,290	6,895	19,186	2,796	21,983	△389	21,594
セグメント利益 又は損失(△)	1,983	663	2,646	112	2,759	△582	2,176

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売、ITソリューション等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	10,037	6,431	16,468	2,516	18,985	—	18,985
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	117	172	290	71	361	△361	—
計	10,155	6,604	16,759	2,587	19,347	△361	18,985
セグメント利益 又は損失(△)	1,454	757	2,211	△117	2,093	△480	1,613

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売、ITソリューション等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。